

フジヤンが死んだ 54歳 6月22日 午後8時50分だった

特別清掃の拡大に情熱を注ぎ、シャベリまくった藤井利明さんが亡くなった



すでに知っている仲間も多いことと思うが、常に運動の先頭で、多くの仲間にも、分かりやすく、エネルギッシュに情報を伝え、行動してきた藤井利明さんが亡くなった。

ふるさとの家で、お別れ会や告別式が営まれたが、藤井さんの死を悼み、釜ヶ崎を始め、山谷・笹島・寿・広島から多くの仲間が集まった。

多くの人が彼について語った。

泉州一といわれた素人役者を父に持ち、長じてはテキ屋に入門して磨きをかけた彼のシャベリ「攻撃」は、金町一家(山谷)の襲撃よりも怖かった。

仲間のため、労働者に役立つことを考え続けていた藤井さんは、身体が思うように動かなくなってからも、釜日の事務所で、仲間の収入源にならないかと、竹細工に挑戦し続けていたが、労働相談で口を開くたびに藤井さんが削った竹の粉が口に入って閉口した。

彼は、釜ヶ崎の本を、釜ヶ崎の歴史、運動の歴史の本を、自分達の手で作りたいがっていた。そのために本をあさったりしていたようだが、その思いは、どうなったのだろうか。

それよりもなによりも、今年の夏祭りで、誰が、いか焼きの段取りをするのだろうか。

天性のシャベリ故に疎まれ、親しまれたフジヤン、死す。

---

## ゼロからの出発 懸命の努力 それでも収入は十分の一の現実

(中之島のアンケート報告の前号から続き。)

亡くなった藤井さんは、野宿を余儀なくされている仲間の収入を少しでも増やす方法はないかと、アルミ缶の買い取り方法や自転車のリサイクル事業など、どうにかならないかと心を砕いていたが、釜ヶ崎支援機構としてはアルミ缶の買い取りや自転車の技能講習などを行っているが、いまだ充分な手当てを見つけないことができず、野宿を余儀なくされている仲間の収入は低いままにとどまっていることを、アンケート結果は示している。

下の「現在の収入源」でも見られるように、懸命の努力にもかかわらず、最下段の表でも判るように、野宿する以前の収入の一割程度しか現在の収入はない(収入あると答えた人の平均値)。

平均月収	日雇	正社員	パート	アルバイト	自営	派遣	(空白)	全体
直前職(a)	135,421円	261,955円	10,5417円	117,920円	475,000円	60,000円	217,970円	179,343円
現在(b)	15,861円	16,922円	14,875円	17,937円	21,500円	6,000円	12,778円	18,698円
b/a	11.7%	6.5%	14.1%	15.2%	4.5%	10.0%	5.9%	10.4%

現在収入源	人数	合計(円)
アルミ缶	131	14,741
雑誌集め	3	11,500
看板持ち	3	76,667
特掃	56	15,682
その他	6	15,750
アルミ缶+日雇い	1	65,000
アルミ缶・雑誌集め	9	13,478
アルミ缶・雑誌集め・日雇	1	30,000
アルミ缶・特掃	19	27,611
アルミ缶・内職(箱作り)	1	10,000
雑誌集め・特掃	1	45,000
雑誌集め・アルバイト	1	30,000
看板持ち・特掃	1	100,000
特掃・その他	2	14,000
特掃・アルバイト	1	50,000
障害者ではないが、人の世話になり、障害者の使う所からいっている	1	30,000
スクラップ	1	7,500
バイト	1	35,000
マッサージ	1	35,000
運転手	2	90,000
会社の仕事	1	30,000
店番	1	40,000
登録業	1	
日雇い	1	10,000
(空白)	23	20,500
総計	269	18,698
特掃合計	80	29.7%
アルミ缶合計	162	60.2%

要望について、自由になんでも書いてくださいとしたところ、今すぐ仕事が欲しい、何でもいいから仕事を、という要望が断トツに多かった。具体的な要望には、特掃の回数の増加を望むものが多かった。住居を望むものも、単に住む事が目的でなく、就職のための安定した住居を求めているのだ。要は、仕事、ということ。

要望(自由記述)	合計
仕事	184
特掃の仕事を多く出して	23
仕事・住居	17
生活保護	6
仕事・宿泊施設	5
炊き出しの質向上	5
お金	4
年金を待ってる	3
55歳以下の特別清掃	2
アルミ缶の単価引き上げ	2
施設入所希望	2
自立支援センター	2
住居	2
宿泊施設	2
炊き出しを続けて	2
対策の拡充を	2
一般社会に戻りたい	1
高齢者に対する就労制度	1
最低5万円	1
仕事・住居・自立支援センター	1
市の管理の元での仕事を出して	1
就職活動するための住居安定	1
就労拡大の実現	1
住居・家庭	1
障害者野宿にも考慮を	1
食事の衛生状態の良化	1
炊き出しありがとう	1
早く楽になりたいです	1
特掃の年齢を50歳からに	1
特掃を月最低13回位	1
反失連に2兆円。りそなは炊き出しに並べ	1
保証人	1
毎年4月から9月ころまで野宿。仕事がしたい	1
満足	1
野営地の維持あるいは宿泊施設	1
野宿生活者対策予算の増額を	1
要望は沢山	1
総計	284